

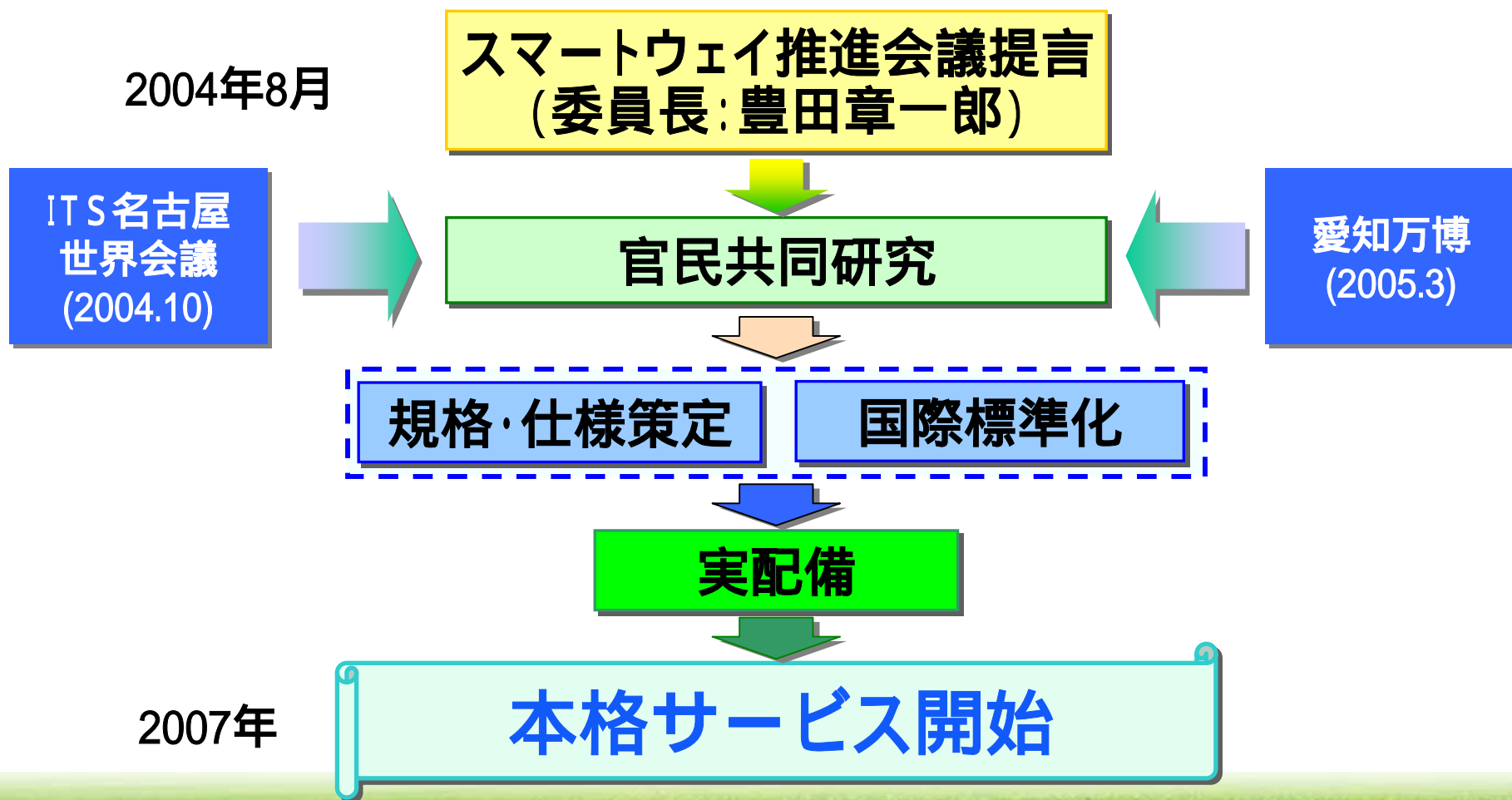


# 2007年ITSサービス

2004年11月

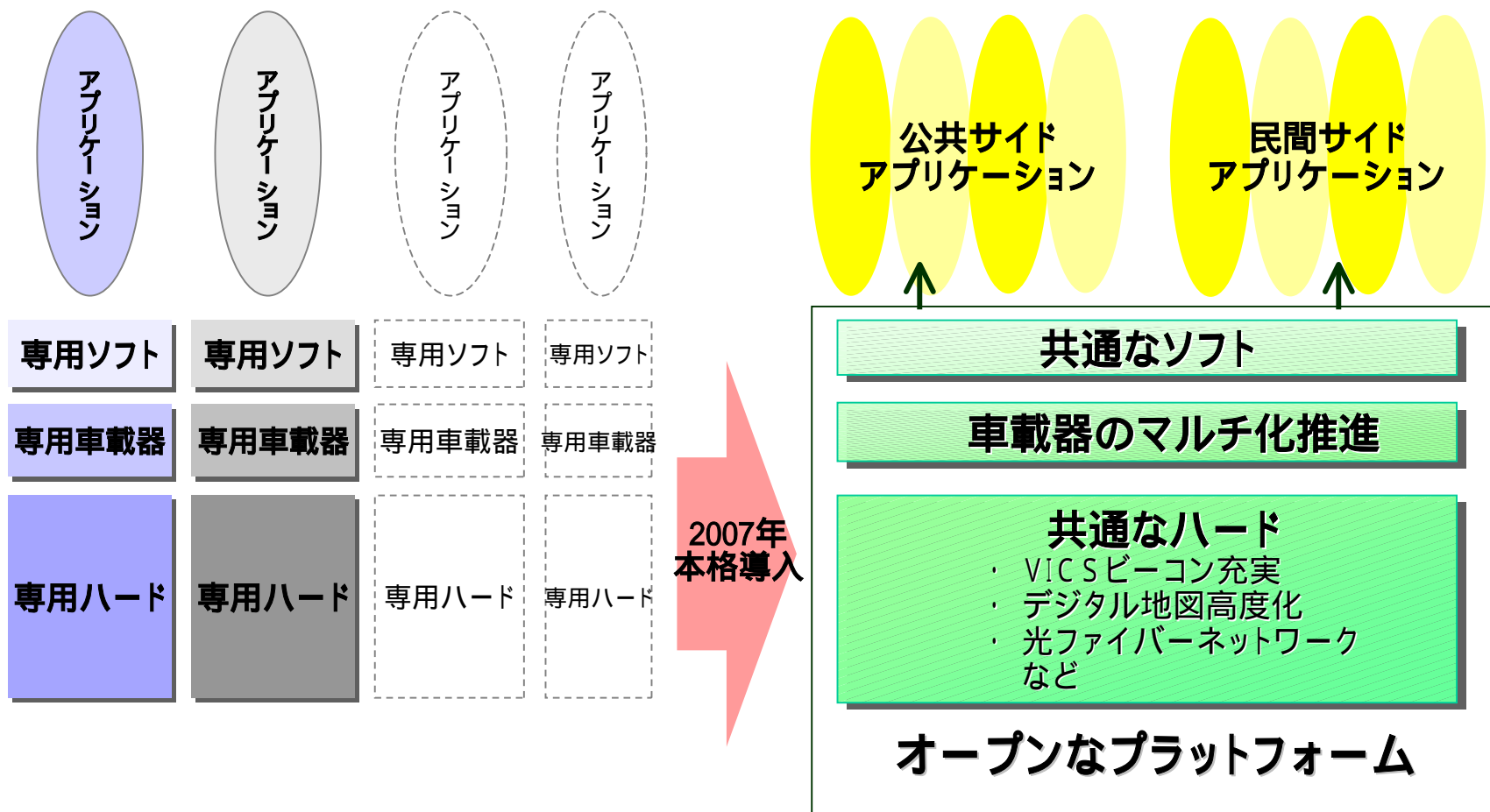
# 1. 提言を受けた取り組み

- ・ スマートウェイ推進会議提言を受け、官民共同研究を経て、規格・仕様を策定
- ・ 規格・仕様策定にあたっては国際標準化も視野
- ・ 基盤の整備などを行い、2007年本格サービス開始を目指す



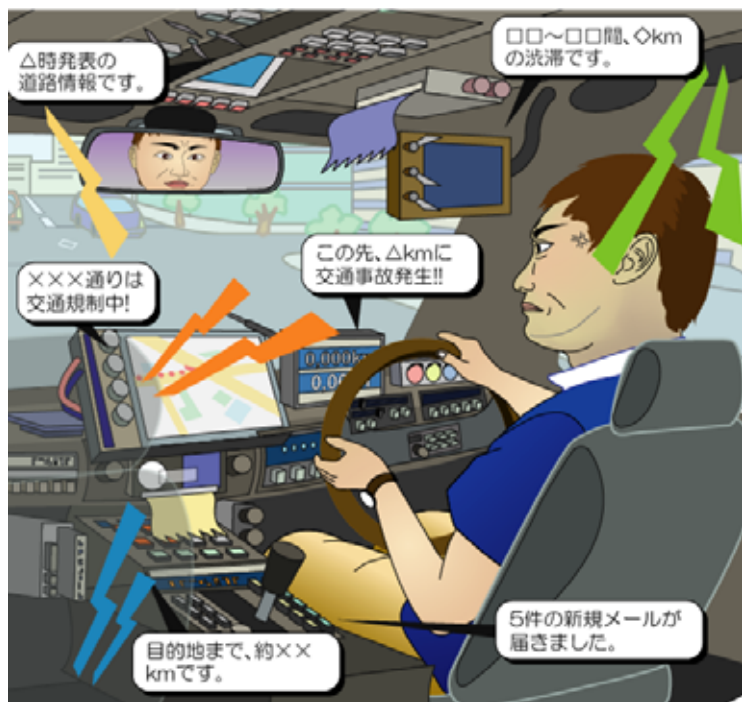
## 2. 基本的な考え方

- 民間を含めた多くの事業者が共通して利用可能な、以下の基盤(オープンプラットフォーム)づくりを進めていく



## 2. 基本的な考え方

- ・ 一つのITS車載器により、様々なサービスを開始
- ・ 歩行者の携帯端末や家庭のPCなどと連携し、シームレスな情報環境構築



アプリケーション毎に車載器が必要で、  
利用者の利便性が損なわれた場合



一つのITS車載器で  
複数のアプリケーションを提供可能な場合



## 2. 基本的な考え方

- ・「車両情報送信」、「決済」、「案内・警告」、「情報提供」などの基礎的サービスの活用や組み合わせにより、多様なサービスシーンが実現する社会を構築

### サービスシーン

豊かさ・環境

安全・安心

快適・利便

### 基礎的サービス

#### 車両情報送信

- ・車両やドライバー個人などを特定し、その車両や個人に対してサービスを提供



#### 決済

- ・クルマに乗車している際に発生する様々な決済のキャッシュレス化を実現するサービス



#### 情報提供

- ・各種道路交通情報、沿道施設情報などを提供するサービス



#### 案内・警告

- ・ドライバーの運転を支援する案内情報、警告を実施するサービス



# 3. 2007年ITSサービスの定義



## 基礎的サービスとその内容

基礎的サービス	基礎的サービスを用いるサービス例		
(1)車両情報送信	プローブ	車両のIDや速度、ABS動作等の情報をセンター設備に送信するサービス。	
	施設への入退出管理	車両のID等から、駐車場等への入退可否を判断し、制御バー等と連動して入退を制御するサービス。	
(2)決済	多用途決済	クレジットカードやプリペイドカードを利用して駐車場料金等の各種決済をキャッシュレスで行うサービス。	
	ETC	有料道路の自動料金収受を行うサービス。	
(3)情報提供	インターネット接続	車載器がインターネットに接続することにより、webサイトの閲覧、メールの利用等を可能とするサービス。	
(4)案内・警告	情報 走行 支援	プッシュ型情報配信	文字、音声、画像、またはこれらを組合わせた情報を走行車両に提供するサービス。
		VICS	VICS情報を、走行車両に提供するサービス。
	制御 警告 や 車両	安全情報提供	急カーブや障害物の存在等、ドライバーの判断に資する情報を提供するサービス。
		車両制御	安全確保のため、急ブレーキやハンドル操作等の指令を、車両の制御系に直接送信するサービス。
		自動運転	車両の自動運転に資する情報を、車両の制御系に直接送信するサービス。
	(5)その他	歩行者支援	歩行者の所有する携帯端末に、バリアフリー化した経路等の情報を提供するサービス。
車車間通信アプリ		車載器同士が直接通信し、両者の保有する経路情報等を交換するサービス。	
有線通信利用アプリ		ADSLや専用線等を利用して、自宅やオフィスのPCで情報の入手や交換を行うサービス。	

# 3. 2007年ITSサービスの定義

## 【あらゆるゲートのスムーズな通過】

- ・ 公共駐車場でのキャッシュレス決済等によるスムーズな通過を実現 → 公共駐車場決済サービス
- ・ ETC専用のスマートIC整備により高速道路の利便性向上、地域活性化

【必要となる基礎的サービス】・・・ 車両情報送信、 決済



駐車場入退出管理・決済実験  
(名城公園 2004年10月)



駐車場入退出管理実験  
(大曽根国道駐車場 2004年10月)



スマートIC社会実験  
(上郷SA 2004年10月～)



図 様々なシーンでの入退出管理およびキャッシュレス決済



# 3. 2007年ITSサービスの定義



## 【場所やニーズに応じた地域ガイド】

- ・ 道の駅、高速道路のSA、PAなどにおいて、周辺の道路情報や地域情報等を集約配信し、利便性向上、地域活性化にも寄与 ➡ **道の駅等情報接続サービス**

【必要となる基礎的サービス】… **情報提供**



情報提供実験 (名城公園 2004年10月)





# 3. 2007年ITSサービスの定義

## 【タイムリーな安全走行支援情報】

- ・ 新方式によるVICSや地図との連携により、詳細な情報や案内・注意情報を提供  
➡ 道路上における情報提供サービス

【必要となる基礎的サービス】・・・ 案内・警告

**【現状のVICS】**

1 東京 2時間以上  
2 東名川崎 2時間以上  
3 横浜青葉 2時間以上  
4 横浜町田 2時間以上

**情報提供の広域化**

2時間以上  
1 渋滞  
40 渋滞 2分  
上野池袋 上野SA 本庄 栗玉 1時間50分  
管理PA 栗山PA 栗原SA 栗原山 20分

**【渋滞末尾等の情報提供】**

この先 渋滞注意

**渋滞情報 XX付近 解消予測XX時間**  
**一般道渋滞情報 XX 付近 解消予測**

渋滞

提供画面数の増加

**【詳細な工事情報の提供】**

2km先 渋滞防止作業により車線閉鎖中

**【合流等の案内・注意の情報提供】**

**[注意]**  
左側に合流車線があります。事故に注意して下さい。

### インフラ

- ・ ITSサービスの展開にともない、適宜、各サービスの追加、更新に対応可能
- ・ データ構造の統一化(定義、数値表現方法、単位、精度の規定)により、データの公開・統一化を推進
- ・ 多様なサービス展開を促進するため、路側機器について利用するアプリケーションの管理の仕組み
- ・ 走行支援システムへの活用や迅速な更新を可能とする次世代デジタル地図の仕組み。
- ・ ARIB STD-T75、T88など既存規格も含め、国際標準も視野に規格化

### ITS車載器

- ・ 多様なサービスを共通の車載器を通じて提供
- ・ ETCやVICSなどが一体となるよう車載器をマルチ化
- ・ 複数の通信手段との連携を視野
- ・ 安心して利用できる仕組みやセキュリティの確保、装着手続きの効率化
- ・ ドライバーの注意を低下させないよう、交通安全への十分な配慮
- ・ 外部情報メディアとの連携

# 5. 展開シナリオ

- ・ 様々なサービスシーンを着実に実現していくことが重要
- ・ 基礎的なサービスの活用や組合せにより、右図に示すスケジュールに従い2007年度頃から開始
- ・ 将来の展望もにらみつつ、当面提供すべきサービスを以下のように定義

## 公共駐車場決済サービス

- ・ 公共駐車場でのキャッシュレス決済等によるスムーズな通過を実現

## 道の駅等情報接続サービス

- ・ 道の駅、高速道路のSA、PAなどにおいて、周辺の道路情報や地域情報等を集約配信し、利便性向上、地域活性化にも寄与

## 道路上における情報提供サービス

- ・ 新方式によるVICSや地図との連携により、詳細な情報や案内・注意情報を提供





# 6. 将来的なITS社会のイメージ

**現在** サービスに対応して、別々の車載器を利用



**将来** ひとつの車載器でさまざまなサービスを実現

